



発行 平成20年7月

# ファミリーサポート通信 第13号

## 思いきって、人の手を借りて良かった

チョコッと利用！ のおすすめ



新しくなった高幡不動駅前

写真提供：サイバー日野 <http://www.c-hino.org/>

「こんにちは赤ちゃん」赤ちゃんの誕生は誰にとっても嬉しいものです。けれどその前後に起こる問題や思いがけない出来事に対応するのは大変。そんな時ファミリー・サポート・センターを利用してはいかがでしょうか。

依頼会員の登録の際に一番多い理由が「もしもの時のために」です。登録はしたけれどまだ一度も利用したことのない方も多いのではないのでしょうか。そこで、もしもの時に初めて提供会員さんにお会いするのではなく、前もって親も子も慣らし保育と思って、ファミリー・サポート・センターの「チョコッと利用」をおすすめします。

お互いに顔見知りになり、お子さんも安心してお願いすることができますね。こうすることで、初めて「もしもの時のために」なるのではないのでしょうか。

とはいえ、なかなか利用にふみきれないという方も少なくないと思います。ここで、利用を始められた会員さんから頂いた感想をご紹介します。

### 少し肩の力を抜いて

南出裕香

ファミサポに登録してはや3年。何度か依頼しようとしたが、なかなかできなかった。そんな折、ファミサポから届くお便りが私の背中を押してくれた。

家事も育児もやろうとおもえば一人でできる。でも少し肩の力を抜いて、他の人の手助けを借りてみてもいいんじゃないかなと思ったのだ。ちょうど、二人目が生まれ、お兄ちゃんが赤ちゃん返りしている時。いいきっかけだと思った。

こうして週に一度、お兄ちゃんの保育園のお迎えの時に弟を提供会員の岩鶴さんに預かってもらうようになった。お兄ちゃんには私一人でお迎えに来るのがとてもうれしい様子だし、私もお迎えが楽。弟も親以外の大人やお姉ちゃんたちにかわいがってもらえて一石三鳥？近所に知り合いが増えるという意味でもとても良かった。

「頼れる人が近所にいる」という安心感—これは何物にもかえがたい。親や親戚が近くにいない私にとってはなおさらだ。先日から家事の援助も提供会員の遠藤さんをお願いし始めた。いろんな家事のノウハウを教えてもらったり、お話をしたり今後は楽しみだ。思い切って依頼してよかったと思っている。



最初は泣いていた椋友くんも最近は笑顔に

# 一人ひとり違っているのがあたりまえ

## 新講座「発達に課題のある子どもの支援」スタート

平成20年度の第一回保育講習会が6月3日から7月1日まで開催されました。今回の講習会を受講して、保育援助活動ができる提供会員さんが新たに8名増えました。

今回の講習会から「発達に課題のある子どもの支援」という新講座がスタート。本号では講座のお話の内容を講師の松田景子先生よりご寄稿いただきました。



## 地域であたたかいつながりを

松田景子（臨床発達心理士、言語聴覚士）

先日は、保育講習会でお話する機会をいただきありがとうございました。日頃、子育て相談や発達相談をしております私にとって、ファミサポはとっても頼もしい存在です。

最近、日野市のファミリーサポート活動においても、通級クラスへの送迎や障がいをもつお子さんの保育などの依頼が増加していると伺いました。そこで、今回は「発達に課題のある子どもの支援」というテーマのもとに、昨年スタートした特別支援教育のことやお子さんをサポートするときに大切にしてほしいことなどをお話ししました。



ペットボトルで子どもの視野の狭さを体感

大切にしたいこととは次のことです。

- ・子どもとその家族が自己肯定感（ありのままの自分を受容できること）をもてるような支援をしていくこと
- ・必要な時に必要なところに協力していくこと
- ・家族から学ぶ、子どもから学ぶこと
- ・一人ひとりがみな違って当然という視点をもつこと

☆子どもの育ち方も、親としての育ち方もひとそれぞれ

☆多数派のやり方を押しつけるのではなく、相手を理解して互いに歩み寄る

- ・子どもの力に合わせた働きかけ、本人も周囲の人も心地よく生活できるような工夫をすること

☆よいところに目を向ける

☆成功体験を増やす

「一人ひとり違っているのがあたりまえ」であることを前提として、「障がいのあるなしにかかわらず、それぞれの特別なニーズに合わせた支援」をしようという気運が世界的に高まっています。わが国ではまだまだ課題山積かもしれませんが、より良いものをめざして一步一步進んでいけるよう願っています。

以前、他市のファミサポの講師をつとめたとき、ある受講者から「障がいのある子どもたちも地域で生きていくことが『あたりまえ』のことになるといいなと、ひとりの親として痛感しています。」という感想をいただいたことがあります。今回の講座も、それを念頭において話をいたしました。そして、会場にいらしてくださった皆さまから、たくさんの貴重なご意見やご質問をいただくことができました。子どもたちとの交流を楽しみ、かつ一人ひとりのことを真剣に考えてくださっているあたたかいパワーがひしひしと伝わってきて、私にとってとても有意義なひとときでした。

ファミリーサポートをきっかけに、子どもたちが地域の方々とあたたかいつながりをもてることがとても嬉しいです。そして、会員の皆さまの間にも素敵な出会いが生まれたりいいな～と思っています。依頼会員さんと提供会員さんが、あるいは提供会員さん同士が、子育て仲間として、同じ地域で生活する後輩・先輩として…。

## Profile

### 松田 景子（まつだ けいこ）

臨床発達心理士、言語聴覚士  
日野市子ども支援事業そだちあい支援アドバイザー  
日野市生活保健センター（健康課）で幼児相談  
日野市福祉事業団「希望の家」  
他の複数の自治体でも相談員



今回の講座「発達に課題のある子どもの支援」は既に活動されているベテラン提供会員さんにもご参加いただきました。

ファミリー・サポート・センターでは、会員さんのニーズに添った援助活動を安心して行っていただくために、今年の秋頃フォローアップ研修を予定しております。

次回 保育講習会は平成21年 2月 開催予定

## おねがい

- 転居やご出産など、登録内容の変更・追加がありましたらお知らせください
- 提供会員さんは活動日をセンターへご連絡ください。活動報告書は翌月の5日までに提出を

## 提供会員募集中

社会参加のはじめの一歩に、スキルアップに、有償ボランティアという選択はいかがですか!!





# たかはた支所もよろしく

多摩都市モノレール高幡不動駅を新井方面（北側）に降りると、すぐの日野市立福祉支援センター1階に「ファミリー・サポート・センターたかはた」があります。支援センターの正面玄関とは反対側に入口がありますので駐車場をまわっていらして下さい。



同じ事務所の中には、0歳児の一時保育室「0歳児ステーション・おむすび」もあります。

活動報告書を届けに来られる提供会員さんも、0歳児の保育の様子をのぞいては、心なごんでいらっしゃるようです。



平成20年度の予定

- フォローアップ研修
- 第2回保育講習会
- 会員交流会



日野市0歳児一時保育

♪一緒に子育て♪

0歳児ステーションおむすび

手をあそび、こころをあそんで  
一緒にぞでてましょ

保育開設曜日

月・火・木・金

9:00~16:30

\*水曜日は親育ち講座

利用単位と料金 30分単位 500円

お問い合わせ (月~金 9:00~17:00)

042-599-7091



南平体育館で会員交流会 楽しくフラダンス (20年2月29日)

日野市ファミリー・サポート・センター  
たまだいら

〒191-0062 日野市多摩平2-9  
多摩平の森ふれあい館  
TEL&FAX 042-589-7616

日野市ファミリー・サポート・センター  
たかはた

〒191-0031 日野市高幡1011  
福祉支援センター  
TEL&FAX 042-599-7616